



はせさんずの移動支援サービスを利用中の山田紗綾さんが、今年3月に田園調布特別支援学校高等部を卒業しました。

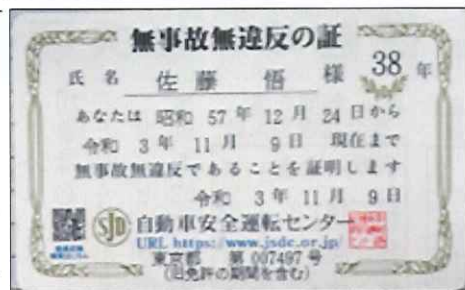
卒業おめでとうございます

小学1年生からサービスを開始しました。最近の週5回、ヘルパーが福祉園のバスポイントで迎えて自宅まで送り、その後は自宅で家族が帰宅するまでの間DVDを見たり、音楽を聴いたりしてヘルパーとすごします。AKB48などの女性アイドルが大好きで、コンサートに行きたいというほど元気な紗綾さん。

4月からは福祉園に通っています。これからは元気で楽しく毎日をすごせるようにと願っています。



移送サービスは安心＆安全運転を実践！
■ドライビングコンテスト
 警視庁主催のセーフティドライビングコンテストに移送活動者18人が参加しました。開催期間の2021年5月1日から同10月31日に無事故・無違反を目標とするもので、全国28025人が参加。(達成率85%)
 はせさんずでは、活動者のうち2名が一時停止と通行



↑運転記録証明書と無事故無違反の証
 ↓研修会に参加した移送活動者

禁止違反があり、残念ながら100%の無違反とはなりませんでした。達成者は記念として「無事故無違反の証」カードを受領しました。

■研修会とアンケート
 そこで3月29日(火)、振り返りのために移送活動者安全運転研修会を開催、安全運転に加え利用者が安心して利用できることをテーマに自己評価アンケートを実施しました。質問は、「運転者にとって



は普通の発進・加速が、利用者には急と感じられたりします。アクセル操作は優しく、ジワッと踏み込んでいく」

介護保険事業 ヘルパー募集中！

ヘルパーステーションの訪問介護や障害者支援で
 大変な人手不足です
 はせさんずは感染症対策にも
 力を入れていますので
 安心して就業いただけます
 ぜひご協力ください

また、4月末日でデイホームの鈴木奈扶美さんが退職しました。



■事務局より
 笹口文大さんが4月からヘルパーステーションのサービス提供責任者として入りました。どうぞよろしく。

「早めにアクセルを戻す、優しいブレーキをかける。ゆとりをもってハンドル操作をしている」などの9項目。「優良」から「できていない」までの5段階評価の結果が左の表です。全員が「優良」となり安心・安全な運転を実践できるようにしていきたいと思っています。

■道交法改正
 道路交通法改正にもない、10月1日からアルコール検知器によるアルコール検査が義務化されます。
 はせさんず移送サービスはボランティアといえ、法令遵守を徹底し、安全運転を実施して、これからも地域の足としての活動を続けていきます。

優良	良	普通	あまりできていない	できていない
41%	34%	22%	3%	0%

はせさんず各部門スタッフより 聞いて! 聴いて!

会員制たすけあい活動

コロナ感染状況はまだ楽観を許さない状況ながら、移送活動の利用者数はコロナ禍前の状況に回復しつつあります。利用者の外出目的で圧倒的に多いのが通院ですが、午前中に集中し、日によってはドライバーや車のやりくりがつかず、ご迷惑をおかけする場合がありますがご了承ください。ドライバーは有償ボランティア活動の一つとして募集していますので、皆様の周りに吹聴していただくと幸いです。(高木清彦)

ヘルパーステーション

サービス中のご利用者から「何かあったら言ってね。お世話するから」と逆に言われてその優しさが心にしみたり、「体に気をつけて」と声をかけてくれる真心あふれるヘルパーさんたちに、チームで利用者を支えている、一人ではないと心強く感じたりするこの頃。利用者にとってかけがえのない日々がより充実するように、私もせわしない毎日に流されず、一つ一つ誠実に取り組んでいこうと思います。(生田目綾子)

ケアサポート

コロナ解除に合わせ毎月の旅行を始めたご利用者がいます。心の健康や豊かさを得られるものは人によってそれぞれですが、私にとっては神社仏閣巡りに思いを馳せることので、令和2年より封印していた御朱印帳が残り2頁、2冊目拝受をめざして新幹線へ飛び乗っていた昔を思い出しました。ご利用者から逆に活力をいただき、これまで培った安全に行動するすべを発揮しつつ、気分はいざ鎌倉。(鈴木敦子)

デイホーム

毎月デイではさまざまな研修を行います。今回「介護予防・要介護度進行予防」について学ぶなかで【CADL: 文化的日常動作】映画・音楽・絵画などの文化的な生活動作により前向きな気持ちをもつことが大切だと知りました。夢や希望・生き甲斐をもつこと、社会とつながり人から励ましを受けることが認知症予防には必要です。心を通わせることが大切! こんな人間らしい魅力的な介護の仕事が大好きです。(蔵野明子)

元気かい

4月14日、池上会館で木曜午後の健康麻雀教室を再開しました。麻雀には「賭博、喫煙」などネガティブなイメージをもつ人も多いようですが、健康麻雀はマナーを大切に、対戦相手を思いやり、互いに気持ちよく楽しむ競技です。皆が元気で年齢を忘れて楽しめる、自分だけが楽しむのではなく、卓を囲む4人が勝ち負けにこだわらずに競い「またあの人たちと対戦したい」と思えるような教室をめざします。(伊藤英子)